



講座のアピールポイント

「人が好き！」を合言葉に、病よりも人を見る。人々の生命を守るばかりではなく、生活と社会、そして前向きな人生を守りたい。そんな公衆衛生学の視点と心意気を持った「人」を育てています。

講座研究紹介

「人が好きで、人が苦しむのを見たくない」

「だからみんな何かできることをしよう！」

私たちはそのために、人々と研究者の間にたくさんの小さな橋をかけながら、さまざまな研究を行っています。

1. お母さんと子どもの健康を守る研究

「健康は母親のお腹の中にいるときから始まっている」を合言葉に、お母さんと子どもの健康を守る研究を、日本産科婦人科学会、全国の多くの大学や病院と協力して行っています。

2. 住民の健康づくりのための研究

地元壬生町をはじめとして、宇都宮市、那須町、埼玉県草加市などで、脳卒中、心筋梗塞、フレイル、認知症、慢性の痛みや頭痛などの予防、さらに要介護状態や死亡の予防を目指して、健康づくりのためのさまざまな取り組みと研究を行っています。

3. 健康診断データを用いた疾病予防の研究

若年におけるメタボリックシンドローム、タバコと呼吸機能の低下などについて、健康診断のデータを使ってさまざまな研究を行っています。

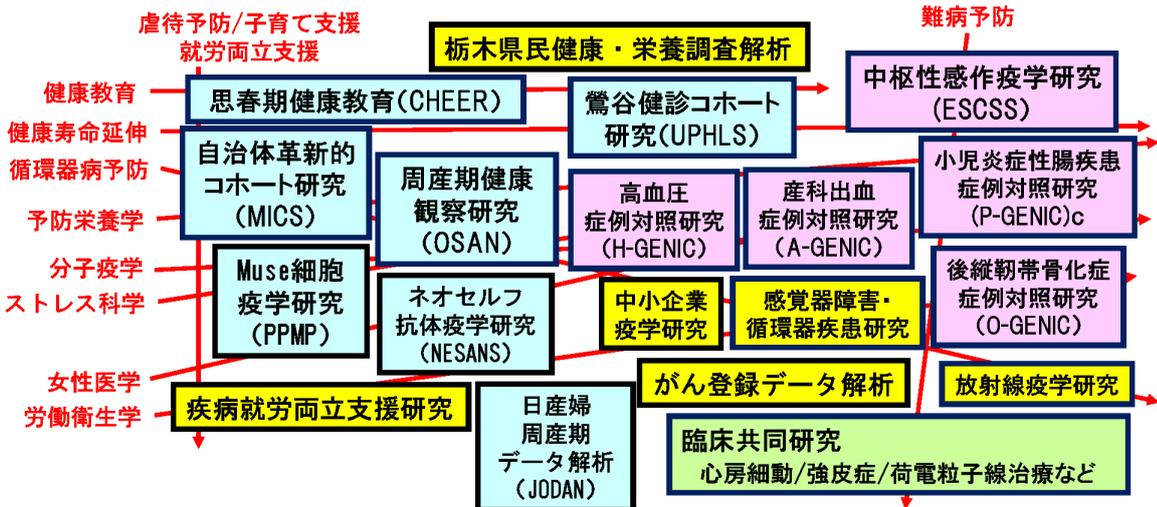
4. Muse細胞やネオセルフ抗体の疾病予防への応用のための研究

最近発見された「からだの中に存在する特殊な多能性幹細胞」であるMuse細胞や、「自己免疫疾患の新しい病因候補」であるネオ・セルフ抗体の予防医学への応用を目指して、先進的な研究を行っています。

5. その他の研究

上記の他にも、臨床医学、基礎医学の先生方と協力して多くの共同研究を行っています。

獨協医大公衆衛生学講座で実施中の主な研究



「小さな橋をたくさん架ける」
「10年後に役立つ研究の種まき」が合言葉